



大歩危・祖谷には温泉郷があります。自然のなかでお湯につかる開放感。雪景色を見ながら、山の頂を仰ぎながら、溪谷のせせらぎを聞きながら、森の緑を映しながら、木漏れ日とお湯の輝きにはほほ笑みながら温泉を楽しむ幸せ。はるばる足を運び、山に分け入り、難所を抜けてたどり着いた秘境の温泉郷。昔から、ここには芯から心を温めてくれる秘湯が待っているのです。温泉宿でのんびりと過ごせば、いつしか山並みはたそがれブルーに沈み、やがて漆黒の空に満天の星が輝きます。夕暮れには温泉の湯気にごちそうの湯気が加わって、忘れられない一夜が始まります。



大歩危・祖谷には
 独特の時間がある
 時間に追われることもなく
 時間を追い越す必要もない
 ゆっくりと思いをたどり
 自分の心の奥底をのぞき見る
 昔の人々の言葉に耳を傾け
 自然体で進むべき未来を見つめる
 不思議の世界に恐れおののき
 ヒトが挑むべきことと
 謙虚に祈るべきことが分かってくる
 そんなかけがえのない時間を
 ここで過ごしたい
 そのために大歩危・祖谷には
 ゆっくりと身を浸す
 温泉も用意されている



平国盛が安徳天皇をお守りして祖谷の地に入ったときに、温泉を見つけ湯治をしたとも伝わるこの地の温泉。事実であれば、天皇さまが入った温泉ということになります。「フロノクニ」という地名も残っていて、かつては深谷の川に沿って所々温泉が湧いていました。今も深谷に沿って、温泉宿が点々とあります。山に包まれて温泉につかる幸せ、裸になって季節の風景に染まる幸せ、ゆっくりと時が流れる幸せ。大歩危・祖谷の幸せは、人が入らしく、等身次の自分自身に気づく幸せかもしれません。